

平成30年度における各構成団体の取組状況

機関名	取組状況
認定NPO法人 びわこ豊穰の郷	<ul style="list-style-type: none"> ・ 9月29日(土) 赤野井湾・小津袋クリーン大作戦での外来水生植物の除去を計画(台風のため中止) ・ 3月2日(土) 赤野井湾・小津袋クリーン大作戦(予定) 湖岸・湖上の清掃と、もりやま芦刈園内の外来水生植物の除去を計画 ・ 毎月1回 赤野井湾再生プロジェクト・赤野井湾ウォッチャー活動
玉津小津漁業協同組合	<p>外来植物の根絶を目標に巡回監視および駆除を170日間実施し、一応の成果はあったが、来年度も引き続き実施し、根絶を目指す。</p>
赤野井湾再生プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎月1回以上 赤野井湾ウォッチャー活動(水草の繁茂状況、外来生物・植物の生息状況の調査、ゴミ拾い、外来植物の駆除) ・ 6月9日(土) 琵琶湖の湖底ごみ除去活動(オオバナミズキンバイ除去含む) ・ 10月 学区民のつどい等で啓発活動 ・ 5月、8月 水質調査 ・ 市広報を活用した啓発(予定)
近江ウェットランド研究会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 琵琶湖水系の各地において、外来水辺植物の生育状況調査を実施するとともに、重要な事項については、県自然環境保全課・環境省・地元市等の関係機関に情報提供を行った。 ・ 高島市の安曇川南流河口部と松の木内湖において、高島市、県自然環境保全課、地元の漁業関係者の協力のもと、外来水辺植物生育状況の現地観察会と緊急駆除作業を実施した。 ・ 絶滅危惧種の宝庫である高島市の浜分沼において、オオバナミズキンバイの緊急生育状況調査を実施するとともに、日本の水草研究の第一人者である角野康郎神戸大名誉教授や藤井伸二人間環境大学准教授等の識者を招いて、絶滅危惧植物の保全と両立し得るオオバナミズキンバイの防除方法についての検討会を実施した。 ・ 環境省、県自然環境保全課、長浜市等の協力を得て、北湖の竹生島において、ナガエツルノゲイトウ駆除作業を実施した。
NPO法人国際ボランティア学生協会 (IVUSA)	<ul style="list-style-type: none"> ● 除去活動 <ul style="list-style-type: none"> ・ 7月1日(日) びわ湖の日オオバナミズキンバイ除去活動 ・ 8月8日(水)、8月22日(水)、8月29日(水) 瀬田川オオバナミズキンバイ除去活動 ・ 8月17日(金) 守山オオバナミズキンバイ除去活動 ・ 9月7日(金)～9日(日) 琵琶湖外来水生植物除去大作戦2018 ・ 12月2日(日) 木浜外来水草除去活動 ・ 3月2日(土) 第12回琵琶湖赤野井湾・小津袋クリーン大作戦 ・ 3月10日(日) 針江外来水草除去活動 ・ 3月15日(金) 彦根市外来水草除去活動 ● 啓発活動 <ul style="list-style-type: none"> ・ 6月26日(火) びわ活発表会および交流会 ・ 7月6日(金)、9月29日(土) えふえむ草津 ・ 8月5日(日) びわ湖大勉強会 ・ 8月24日(金) 世界湖沼会議BIWAKOプレ会議 ・ 8月26日(日) マザーレイクフォーラムびわこ会議 ・ 10月15日(月)～18日(木) 第17回世界湖沼会議[いばらき霞ヶ浦] ・ 2月3日(日) 淡海の川づくりフォーラム
公立大学法人 滋賀県立大学 環境科学部	<p>平成29年度に引き続き、滋賀県立大学特別研究費により「湖沼周辺における水陸両生外来植物管理」の研究を行った、具体的な研究項目は以下のとおりである。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オオバナミズキンバイ管理制度に関する日仏英比較研究 2. 生活史解明、陸上個体への除草剤使用の効果・影響解明 3. メタン発酵処理技術開発
瀬田町漁業協同組合	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外来水生植物の監視と駆除を毎月2回実施 ・ 駆除した水草は天日干した後、大津市の処理場へ搬出 ・ 水産多面的事業にて、瀬田川流域を全面的に駆除

平成30年度における各構成団体の取組状況

機関名	取組状況
大津市	<ul style="list-style-type: none"> ・ オオバナミズキンバイ除去作業に係る処理手数料の負担 4月～12月 瀬田川流域クリーン作戦 23.34 t 9月 国際ボランティア学生協会(IVUSA) 13.9t ・ 廃棄物焼却処理施設への受入れ(上記活動) 環境美化センター 大田廃棄物最終処分場
彦根市	<ul style="list-style-type: none"> ・ 7月に神上沼のナガエツルノゲイトウ駆除を計画したが、悪天候のため中止。 ・ 3月に市内普光寺町養魚池跡でのナガエツルノゲイトウ駆除を企画中。
長浜市	<ul style="list-style-type: none"> ・ 竹生島のナガエツルノゲイトウ駆除作業の補助および駆除個体の処分 ・ 農政課による田んぼおよび川沿いに侵入したナガエツルノゲイトウの駆除
近江八幡市	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市広報、市HPを通して、オオバナミズキンバイやナガエツルノゲイトウなどの侵略的外来水生植物の早期発見を啓発
草津市	<ul style="list-style-type: none"> ・ ボランティアが刈り取って自ら搬入する水草処分費用の減免 ・ 外来水生植物拡散防止についての啓発(市広報、HP、イベント開催時におけるパネル展示) ・ オオバナミズキンバイの監視パトロールの実施
守山市	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外来水生植物の駆除作業を行う自治会、団体等に対する報償費の支出 ・ 赤野井湾の再生を目指す団体である「赤野井湾再生プロジェクト」の活動(オオバンミズキンバイの監視、除去、啓発等の実施)に対し、報償費の支出および事務局支援 ・ ボランティアが駆除したオオバナミズキンバイの処分(環境センターにおいて焼却処分の実施(処分費は減免)) ・ 市内の自治会、環境団体、企業等で構成する「赤野井湾・小津袋クリーン大作戦」への参画(年2回活動)への参画 ・ 「守山市ごみ・水環境問題市民会議」等による啓発活動
野洲市	<ul style="list-style-type: none"> ・ 12月21日～27日 須原地先に駆除した外来水生植物の処分(処分手数料の免除) ・ 駆除後の再生防止監視(月1回)
高島市	<ul style="list-style-type: none"> ・ 7月28日(土) 橋爪樋門(新旭町饗庭)にて、イベント形式で参加者とオオバナミズキンバイ、ナガエツルノゲイトウの駆除を実施(生物多様性保全活動支援センター・いきものふれあい室との共同イベント)
東近江市	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特定外来水生植物駆除作業(伊庭の里湖(さとうみ)づくり協議会) ボランティアによる伊庭内湖でのナガエツルノゲイトウの駆除を7回実施 駆除量 674.3kg(湿重量)
米原市	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市広報誌を通じて、外来水生植物の拡散防止を市民に啓発
滋賀県琵琶湖政策課	<ul style="list-style-type: none"> ・ 水草等対策技術開発支援事業
滋賀県水産課	<ul style="list-style-type: none"> ・ 漁業者を中心とする水産多面的活動組織が行う駆除に対して支援を行った(瀬田川、山田、津田江、玉津小津、守山、堅田(山ノ下))。
滋賀県流域政策局 河川・港湾室	<ul style="list-style-type: none"> ・ 不飲川(彦根市)において、流下阻害となっている草木の除去に合わせてオオバナミズキンバイの撤去を実施した。
滋賀県琵琶湖環境科学研究センター	<ul style="list-style-type: none"> ・ 政策課題研究4「生物多様性保全・再生の戦略的推進に向けた研究」の一環として、オオバナミズキンバイの繁茂が水生生物の基盤的な生息環境である溶存酸素濃度に与える影響を明らかにするため、山の下湾のオオバナミズキンバイ繁茂地(協議会が設置した流出・拡大防止フェンスの内部と外部)において、4月から10月まで、溶存酸素濃度の連続測定を行った。その結果、湖底上30cmでは初夏から、湖底上50cmでも特に8月以降において、群落外よりもD0の値が低く、日内変動が大きいことが明らかになった。今後、この変動要因について検討する予定。

平成30年度における各構成団体の取組状況

機関名	取組状況
環境省 近畿地方環境事務所	<ul style="list-style-type: none"> ・ 姉川及び安曇川以北の北湖での侵入状況調査 ・ 29年度で駆除した長浜市、高島市の侵入地における再生防止 ・ 新規侵入地での駆除 ・ 29、30年度で判明した侵入地で駆除を開始
国土交通省 近畿地方整備局 琵琶湖河川事務所	<ul style="list-style-type: none"> ・ IVUSAが行う琵琶湖外来水生植物除去大作戦2018と連携し、国土交通省職員が自ら瀬田川で除去活動を実施。また、事前に有識者を招き、効果的な駆除方法等の勉強会を実施(8月・9月) ・ 瀬田川流域クリーン作戦で除去した外来水生植物を水切りし、減量するための仮置き場を提供。
(独)水資源機構 琵琶湖開発総合管理 所	<ul style="list-style-type: none"> ・ 9月18日(火) 水資源機構の管理用地である新浜ビオトープでのオオバナミズキンバイ駆除活動 駆除面積：約200㎡ 残存面積：約2,300㎡ ・ 10月10日(水) 新浜ビオトープでの滋賀県によるオオバナミズキンバイ駆除デモンストラーション 駆除面積：約800㎡ 残存面積：約1,500㎡
滋賀県 自然環境保全課	<p>①侵略的外来水生植物戦略的防除推進事業</p> <p>■侵略的外来水生植物戦略的防除推進事業費補助金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大規模群落に対する機械駆除事業の継続 ・ 小規模群落等、機械駆除が困難な群落に対する人力駆除 ・ 駆除済みエリアにおける、再生・回復状況監視と早期駆除の実施 <p>■生物多様性保全回復整備事業委託</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 琵琶湖国定公園に含まれない内湖および流入河川における駆除、巡回監視の実施 <p>②外来生物防除対策事業</p> <p>■外来生物に関する普及・啓発</p> <p>滋賀県内に生息している外来生物に関する情報を収集し、広報やインターネット等による情報発信や啓発資料を作成・配布し、県民への普及啓発を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 6/30(土) 「瀬田川流域クリーン作戦」において潜水土とジェットポンプを用いた効果的な駆除作業の実演および駆除跡地における巡回・監視を実施 ・ 10/10(水) 草津市新浜町地先の水資源機構管理の新浜ビオトープにおいて、建設機械を用いた駆除作業の実演を実施 ・ 1/16(水) 高島市今津町浜分の浜分沼において、水陸両用クローラ式藻刈船「浮き丸」を用いた駆除作業の実演を実施 ・ 2/8(金) 草津市下寺町の津田江内湖において、多機能作業船「ウォーターマスター」を用いた駆除作業見学会を実施 <p>■農地におけるナガエツルノゲイトウの侵入への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 8/1(水) 湖北農業農村振興事務所と連携して、長浜市南浜町・川道町の農地に侵入したナガエツルノゲイトウの除去作業を実施。 <p>■多様な主体による駆除活動への支援・参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 5/20(日)、6/3(日)、6/30(土)、7/21(土)、9/8(土)、10/13(土)、10/28(日)、11/18(日)、11/25(日) 瀬田町漁業協同組合等から成る「瀬田川流域クリーン作戦」の駆除作業への参加 ・ 6/9(土) 赤野井湾再生プロジェクトによる駆除作業への支援・参加 ・ 6/15(金) 近江ウェットランド研究会による高島市松の木内湖、安曇川河口における調査および駆除作業への支援・参加 ・ 7/1(日) NPO法人国際ボランティア学生協会(IVUSA)による「びわ湖の日 オオバナミズキンバイ除去活動」への支援・参加 ・ 7/28(土) 高島市による駆除イベントへの支援・参加 ・ 8/9(木) 近江ウェットランド研究会による東近江市大淵湖における調査および駆除作業への支援・参加 ・ 9/7(金)～9/9(日) NPO法人国際ボランティア学生協会(IVUSA)による「琵琶湖外来水生植物除去大作戦2018」への支援・参加 ・ 10/29(月) 野洲市須原における外来水草調査への協力 ・ 11/5(月) 近江ウェットランド研究会による長浜市竹生島における調査および駆除作業への支援・参加 ・ 12/2(日) NPO法人国際ボランティア学生協会(IVUSA)等による守山市木浜ヨシ帯における駆除活動への支援・参加 ・ 3/2(土)(予定) びわ湖豊穰の郷による駆除活動への支援・参加 ・ 3/10(日)(予定) NPO法人国際ボランティア学生協会(IVUSA)等による高島市針江のヨシ帯における駆除活動への支援・参加 <p>③水草等対策技術開発支援事業(琵琶湖政策課・自然環境保全課)</p> <p>事業者へ試験研究試料として駆除した外来水生植物を提供</p>